



令和7年8月
桜堤保育園

7月にはいつから大きな感染症の流行は見られず、元気に登園する子どもたちの声が毎日聞こえてきます。これからしばらくは暑い日が続く、年齢が小さい子ほど体力の消耗が激しくなることが考えられます。園でも暑さ対策を工夫しながら過ごしていますが、おうちでも生活リズムを整え、睡眠をしっかりとって、暑い時期を乗り越えましょう！

・・・夏に流行しやすい感染症・・・

病名	症状	登園の目安
ヘルパンギーナ	・突然の発熱 ・上顎の奥に周囲が赤くなった1～数ミリの小さな水泡ができる	熱が下がり、通常の食事がとれる
咽頭結膜熱 (プール熱)	・突然の発熱、3～5日の高熱 ・目やに、目の充血・咽頭通、扁桃腺の腫れ	発熱・充血等の主な症状が消えた後、2日経過している
手足口病	・手のひら、足の裏、太ももを中心にポツポツできる ・口の中が痛む為、飲んだり食べたりするのを嫌がる	咳などの症状が安定し、全身状態がいい

昨年はこの時期ヘルパンギーナが流行していました。暑さで体調を崩しやすいこの時期は様々な感染症に注意が必要です。
咽頭結膜熱(プール熱):医師による登園許可証が必要 ヘルパンギーナ・手足口病:保護者による登園届が必要

知っておきたい 子どもの目のトラブル

保育園では乳児を中心に、結膜炎のお子さんが数名見られています。下記のように感染症の場合もあるため、目の症状に関しては注意が必要です。朝起きた際の目やにや目の充血、かゆみがある場合は登園前に受診をお願いします。

こんなときは要注意



目をこする、まばたきが多い

かゆいときや痛いときは、手で目をこすったり、まばたきが増えたりします。



涙でうるうるする、充血している

目を覆う結膜に炎症が起きていると、涙が増えたり、充血したりします。



目やにが増える

涙や分泌物が増えるために、目やにが増えます。

流行性角結膜炎(はやり目)

ウイルスが結膜に感染し、炎症を起こします。目やにが増えたり、白目が充血したりするほか、黒目に白い膜ができることがあります。感染力が強く、うつりやすいため、「はやり目」とも呼ばれます。

おうちでは……

タオルや寝具を介してうつることがあるので、**タオルの共有は避け、枕カバーやシーツをこまめに交換**しましょう。

ウイルスのついた手で目に触ると感染するので、**こまめに手を洗う**ことも重要です。

登園再開の目安 結膜炎の症状が消えたこと

麦粒腫(ものもらい)

まぶたに細菌が感染して、目の縁やまぶたが赤くはれます。目がゴロゴロしたり痛みが出たりしますが、子どもはうまく言えません。まぶたがはれているときや目をしきりに触るときは受診しましょう。

おうちでは……

ほかの人にうつることはなく、薬を正しく使えばすぐに治ります。ただ、目を触るとぶり返したり、長引いたりすることもあるため、**目を気にするそぶりがあるときは、冷やしたタオルを目に当ててあげ**ましょう。かゆみや不快感がやわらぎます。

登園再開の目安 人にうつらないため、園を休む必要はありません

※上記の症状がある場合は眼科、もしくは小児科を受診しましょう。